

# 令和2年7月豪雨に伴う有明海・八代海の水質環境調査(速報)

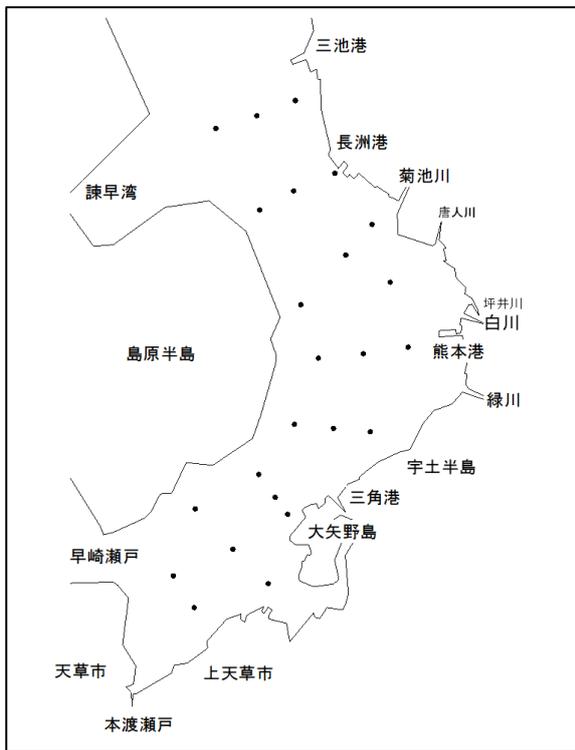


図 調査点 (有明海)



図 調査点 (八代海)

## 熊本県水産研究センター

浅海干潟研究部、技術室、調査船ひのくに、調査船あさみ、調査船みやづ

令和2年7月豪雨の影響を把握するため、7月28日に有明海、7月31日に八代海で環境調査を実施しました。

速報として、塩分濃度の分布状況を別紙に示します。

有明海における海水の塩分濃度は、表層では荒尾市から熊本市沿岸にかけて低く、外海に近い湾口部に向け塩分濃度が高くなっています。水深が浅い程その状態が顕著となっています。

八代海における海水の塩分濃度は、表層で球磨川河口域から南北に低塩分域が広がっており、南部海域においては塩分濃度が高くなっています。

水産研究センターでは、今後も定期的に環境調査を実施し、情報発信を行う予定です。

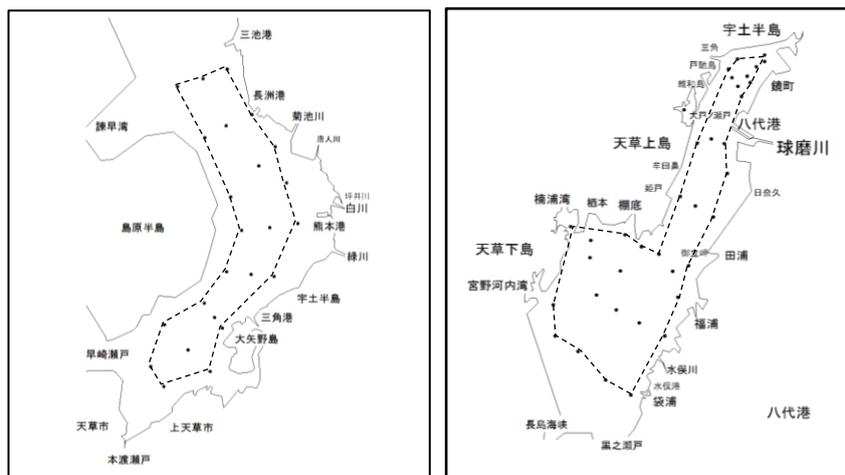
【調査内容】

- 1 調査日時 有明海：令和2年7月28日（火） 7:00～13:00  
八代海：令和2年7月31日（金） 6:00～13:00
- 2 調査点 有明海：24 調査点、八代海：36 調査点
- 3 調査方法 調査船を用いて、多項目水質計による水質の鉛直調査
- 4 使用船舶 調査船ひのくに、調査船あさみ、調査船みやづ
- 5 調査機器 多項目水質計（JFE アドバンテック社製 AAQ-RINKO）
- 6 調査項目 下表のとおり

測定項目	単位	
塩分	無単位	(‰、g/L とほぼ同値)

7 調査結果のデータ処理

水深0, 2, 5, 10m及び底層について、塩分の平面分布図を作成しました。

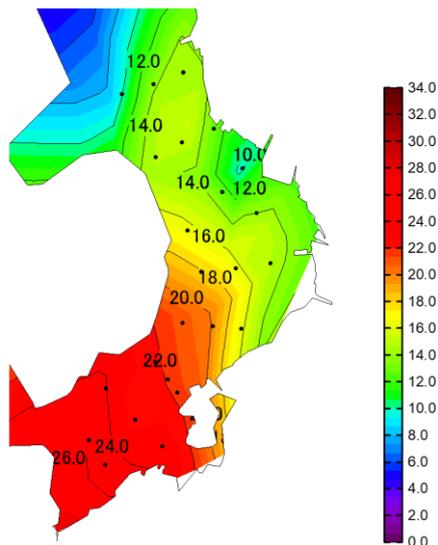


左図の調査点間は近傍のデータで補間処理されますが、点線の外側は、補外処理のため、調査点から離れるに従い、実測値と大きく異なる場合があります。

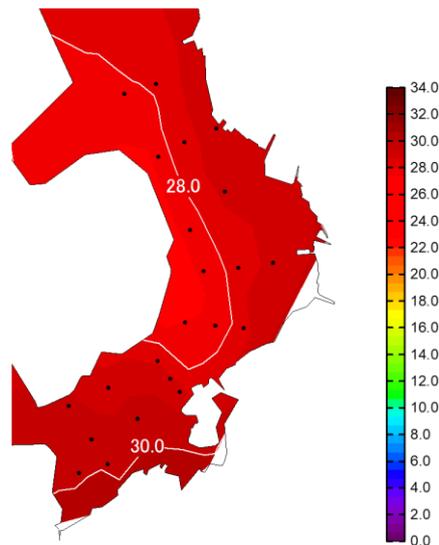
8 その他

速報ですので、後日データが修正、補足される場合があります。

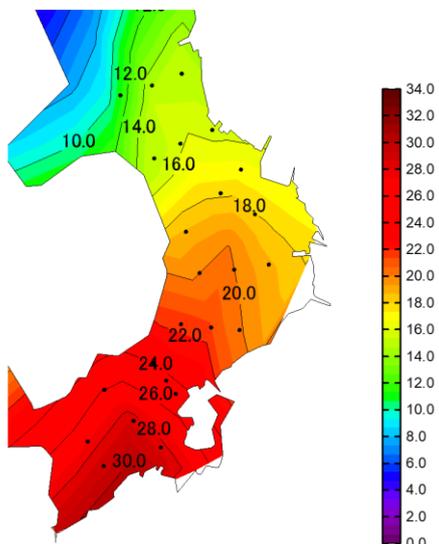
有明海 塩分 0m 7/28



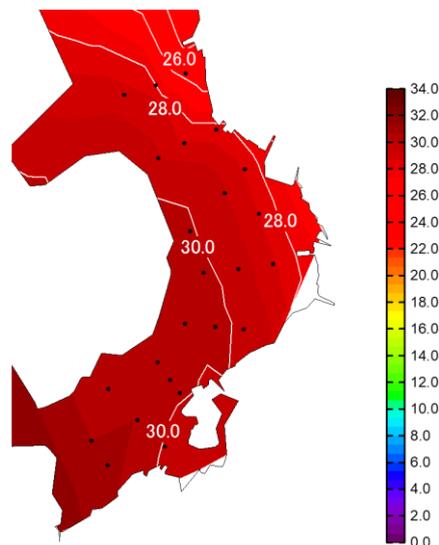
有明海 塩分 10m 7/28



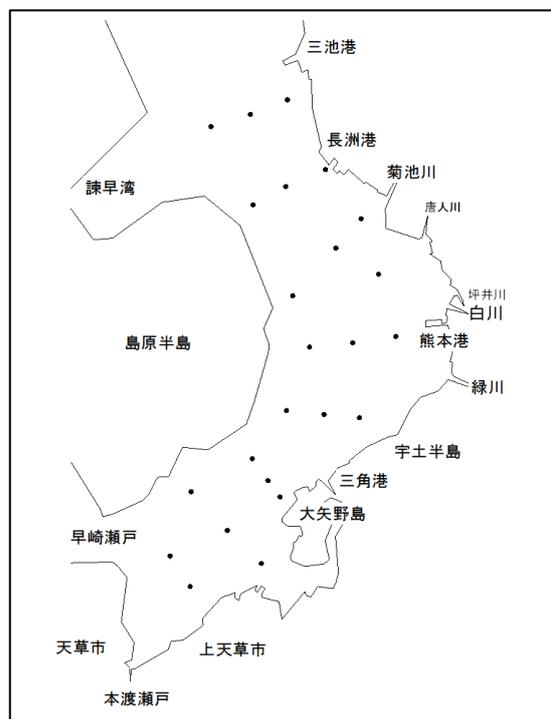
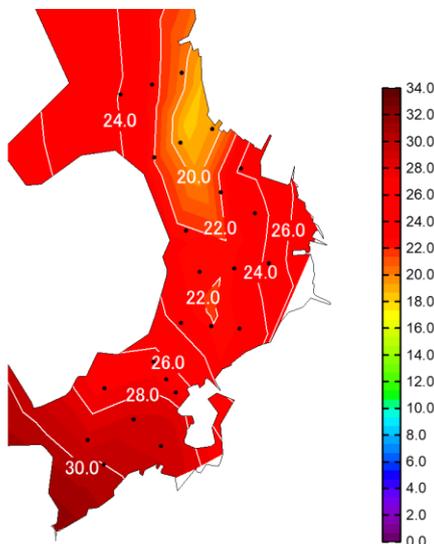
有明海 塩分 2m 7/28



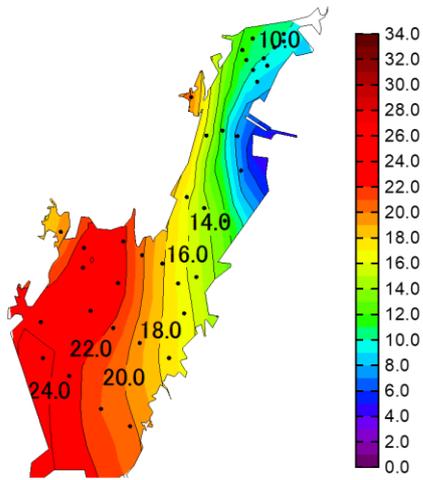
有明海 塩分 底層 7/28



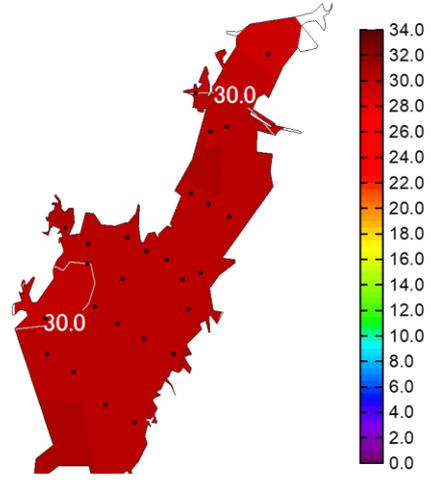
有明海 塩分 5m 7/28



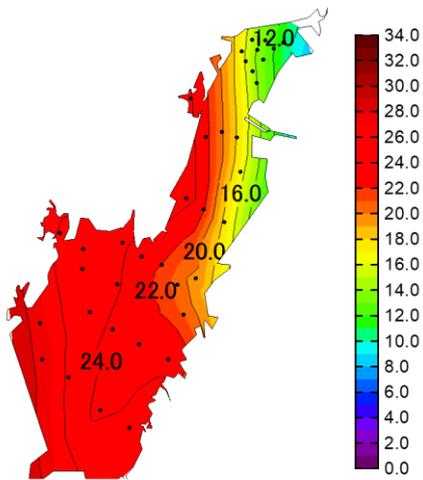
八代海 塩分 0m 7/31



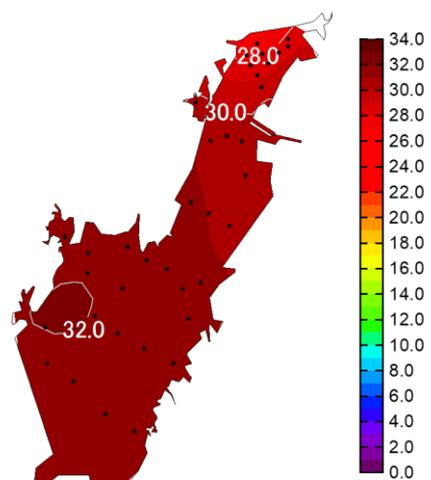
八代海 塩分 10m 7/31



八代海 塩分 2m 7/31



八代海 塩分 海底 7/31



八代海 塩分 5m 7/31

